

在コルカタ日本国総領事館管内安全対策情報
令和2年度第1四半期（令和2年4月～6月）

1 社会・治安情勢

当館が管轄する西ベンガル州、ビハール州、オディシャ州、ジャールカンド州においては、これまで極左武装勢力マオイストの脅威が存在してきたほか、国政与党BJPと西ベンガル州政府与党TMC間での衝突・抗争、さらにムスリム以外の不法移民を宗教的な難民とみなしてインド市民権を付与するCAA（市民権法改正法）に対する抗議デモが発生してきました。

今期は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、インド政府が全土ロックダウンを実施する中、以下のような事案が発生しました（当地紙報道による）。

- 3月31日、西ベンガル州コルカタ市内で、ロックダウン中の食糧配給をめぐり、TMC内で抗争。粗製爆弾等を投げ合い、数人が負傷し、7人が逮捕される。
- 4月8日、ビハール州 Khagaria で、民間人3人がマオイストと遭遇し、殺害される。
- 4月19日、ジャールカンド州 West Singhbhum で、民間人1人がマオイストと遭遇し、殺害される。
- 4月28日、西ベンガル州 Howrah で、女性が警官から暴行を受けたと訴えたことをきっかけに、地元住民約200人が警察と衝突し、警官4人が負傷した。
- 5月25日、西ベンガル州コルカタ市内で、BJP支持者らが、同20日にサイクロン Amphan が直撃して以降、長期間停電が続いていることに不満を持ち、各地で倒木で道路を封鎖するなどして、州政府等に対する抗議デモを行った。
- 5月26日、西ベンガル州コルカタ市内で、TMC地区リーダーが、停電抗議中のBJP支持者らに襲われ負傷した。
- 5月31日、ジャールカンド州 West Singhbhum で、警官2人がマオイストと遭遇し、殺害される。
- 6月10日、西ベンガル州 South 24 Parganas で、TMC地区リーダーが内部抗争により襲われ、粗製爆弾を投げつけられて殺害される。
- 6月20日、西ベンガル州 West Midnapore で、BJPとTMC支持者らが衝突し、約90人が一時拘束された。
- 6月25日、西ベンガル州コルカタ市内で、TMC支持者ら約200人が、ガソリン等の燃料価格が高騰していることに不満を持ち、Howrah 橋を一時封鎖して、インド政府に対する抗議デモを行った。

2 邦人に係る一般犯罪情勢

令和元年度においても、邦人の旅行者をターゲットにした事件が複数件発生しました。

令和2年度においては、インド政府ならびに州政府によるロックダウンのため、邦人の旅行者数や在留邦人の外出の機会が減少しており、一般犯罪の被害は報告をされておられません。しかし、これは、加害者がいなくなった訳ではなく、市中で邦人が加害者に遭遇する機会が減少したことによるものであり、加害者は隙があるターゲットを常に探しています。

旅行者に対して、声をかけてくる人物には最大限用心し、不審な誘いや要求があった場合、断るか、それには応じず速やかにその場を離れる等といった対応が必要です。

たとえ、声をかけてきた人物と一緒にいる間、親切的な振る舞いであったとしても、相手は巧みにだましてきている可能性があります。相手の突然の要求に不審を抱きながらも、これまでの経緯から信用した結果、被害に遭ってしまった事案がほとんどです。犯罪に巻き込まれないためには、常に細心の注意を払い、相手の言動に不審な点が認められた場合は、問題がないと判断されるまで従わないように心がけてください。

本年3月のロックダウン開始前までは、親しくなったと思った頃に、信用したインド人から高額な保証金の支払いを要求してきたり、預けた貴重品を持ち逃げたりされるなど邦人の方の被害が後を絶たない状況でしたので、御注意ください。

(1) 殺人

邦人被害の事件には接していません。

(2) 強盗

邦人被害の事件には接していません。

(3) 強姦

邦人被害の事件には接していません。

(4) 詐欺・ぼったくり等

邦人被害の事件には接していません。

3 テロ・爆弾事件発生状況

邦人被害の事件には接していません。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害の事案には接していません。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

日系企業がターゲットにされた事案及び関連情報はありません。(了)